

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|-------------------|--|---|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 健 | 1 | ○ | 運動に親しみのない方も運動を習慣化することで健康寿命の延伸が図れるよう、気軽に取組める、ウォーキング、ノルディックウォーキングや「すいた笑顔(スマイル)体操」の普及・定着に取り組んでいる。 | 文化スポーツ推進室 | 運動習慣化推進事業 地域スポーツ促進・サポート事業 | ノルディックウォーキングが各地区行事に積極的に取り入れられており、普及が図られている。また、「すいた笑顔(スマイル)体操」の音楽を昼休憩時に流し、来庁者及び職員に音楽と体操を覚えてもらえるよう周知を図っている。市民スポーツ講座は「安全な歩き方」をテーマに実施する予定である。 | A | ノルディックウォーキングは27地区の行事等で実施され、概ね吹田市全域での普及が図られた。また、笑顔(スマイル)体操は開庁日の昼休憩時に実施し、1階ロビーでのスマイルデーは、8回の実施で350人の参加があり、一定の周知が図られた。 市民スポーツ講座「セーフティウォーキング」は、安全な歩き方をテーマとした内容で、講義と実技に分け2回実施され、38人の参加があり、大変好評を得た。 |
| 健 | 2 | | 認知症になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための地域づくりを進めるために、認知症サポーター養成研修、徘徊高齢者捜索模擬訓練、成年後見制度利用支援事業を実施している。 | 高齢福祉室 | 認知症サポーター養成事業 認知症地域サポート事業 成年後見制度利用支援事業 | 平成30年度の認知症サポーターは3月末現在で、24,390人であり、今後も継続して実施していく。認知症地域サポート事業については、2地域で実施した。また、認知症高齢者に対する成年後見人等の報酬等の助成については年々利用者が増加しており、継続して実施していく。 | A | 認知症サポーターからは「普段の生活の中でも手助けできると思う」「できる範囲で見守りを続けていきたい」、認知症地域サポート事業参加者からは「困っている人がいたら声をかけようと思う」といった意見・感想あり。認知症の人や家族が暮らしやすい地域づくりにつながっている。 |
| 健 | 3 | | 吹田市国保健康診査(特定健診)、がん検診等の各種健(検)診を身近なかかりつけ医等で受診できるなど、市民が健康管理に取り組みやすい環境整備を行っており、吹田市国保健康診査については、全国的に見ても高い受診率を維持している。 | 国民健康保険室 保健センター | 特定健康診査(国保健康診査)事業 がん検診事業 結核検診事業 骨粗しょう症検診事業 30歳代健康診査事業 聴力検診事業 B型・C型肝炎ウイルス検診事業 ペプシノゲン胃検診事業 前立腺がん検診事業 吹田市健康長寿健診事業 | 市内の協力医療機関において各種健(検)診事業を継続して実施している。(胃内視鏡検診の実施について検討を行う。) | B | 国保健康診査の受診率は全国及び府平均を上回っているが、年々、国保健康診査や各種がん検診の受診率が減少しており、今後も市民一人ひとりが健康づくりに取り組みやすい環境づくりに努める。 胃がん検診については、現在胃エックス線検査を集団検診で実施しているが、胃内視鏡検査の個別検診の実施に向け検討している。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|--------------|---|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 健 | 4 | | 大阪府内で初めて「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定。妊婦歯科健康診査や6歳臼歯健康診査など、先進的に歯科保健事業を行うとともに、口腔ケアセンターを設置し、歯科保健の推進に取り組んでいる。 | 保健センター | 1歳6か月児健診事業 2歳6か月児歯科健診事業 3歳児健診事業 歯科フォロー事業 6歳臼歯健康診査事業 成人歯科健診事業 在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業 妊婦歯科健診事業 口腔ケアセンター運営事業 | 各種歯科健診事業、口腔ケアセンターにおける「赤ちゃんの歯の広場」等の委託事業や「お口の健康体操教室」等の補助事業も継続実施している。歯科医師会と定期的に会議をもち、事業の評価、検討を行っている。成人歯科健診では、平成30年度から後期高齢者医療保険の加入者は大阪府後期高齢者医療歯科健診を受診するが、今まで実施していた成人歯科健診の内容から低下することがないように市で内容を上乘せして実施している。また在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業の対象者の見直しをし、通院困難者が利用しやすくするために検討する。 | A | 平成30年度から大阪府後期高齢者医療保険加入者は大阪府後期高齢者医療歯科健診を受診するが、吹田市民で市内協力歯科医院で受診した場合は、市独自で健診内容を追加し、今までの成人歯科健診内容と相違がないように実施することができた。また在宅寝たきり高齢者等訪問歯科事業の対象者の見直し、通院困難者が利用しやすくするために事業名の変更も検討している。 |
| 健 | 5 | ○ | 北大阪健康医療都市(健都)において、立地施設を含め、「健康・医療」をキーワードとした事業を展開する。また、(仮称)健都ライブラリーと公園を一体的に活用し、健都ならではの健康・医療の取り組みを推進する。 | 北大阪健康医療都市推進室 | 北大阪健康医療都市推進事業 | 健都レールサイド公園を活用したウォーキング講座や健康遊具の使い方講座を開催。また、市民病院や駅前複合施設等のオープンに併せて健都オープンイベントを実施。健都レールサイド公園では、健康をテーマとした市民参加型イベントを開催した。 | A | 講座・イベントあわせて500名を超える参加があり、健都のまちや健都レールサイド公園のPRが図られた。講座の参加者からは、「はじめて参加したが使い方がよく理解できた」「今後、日常の運動習慣にも大いに取り入れていきたい」などの感想を得るなど、内容についても概ね高評価を得たものと考えている。 |
| 健 | 6 | | 公民館で文化スポーツ推進室と連携した運動講座を開催している。 | まなびの支援課 | 地区公民館事業 | まなびの支援課に運動の専門性を持った職員を配置し、公民館での運動講座を開催した。平成30年度は市内公民館30館のうち14館で計158回実施し、述べ3391人が受講した。 | B | 自宅から近く、気軽に参加できる場所で定期的に実施されることで、運動の習慣化や地域住民の繋がりに役立っている。 |
| 健 | 7 | | 健康づくりへの啓発のため、運動講座(まなびの支援課との連携事業)や、身近な病気、健康情報に関する健康医療講座を、関連の資料紹介と合わせて開催している。一部の館では健康・医療に関するコーナーを設置している。 | 中央図書館 | 主催行事事業 | 運動講座はまなびの支援課と連携して開催。健康医療講座は、市内医療機関と連携して開催。いずれも吹田市健康ポイント事業に参加。 | B | 運動講座 7回開催 参加者 111人 健康医療講座 3回開催 参加者 78人 |

【調査票1】

令和元年度シティブロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティブロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティブロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティブロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティブロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|-----------------------|---|--|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティブロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 安 | 8 | ○ | 「動く防犯カメラ」として期待されるドライブレコーダーの普及促進や青色防犯パトロールカーを活用した見守り活動、子どもの見守り活動、犬の散歩時を活用したパトロール「わんわんパトロール」等のさまざまな見守り活動を支援することで、「地域の見守る目」を増やしている。 | 危機管理室 | 安心安全ドライブレコーダー普及促進事業 青パト燃料支援事業 吹田市防犯活動補助事業 | 市内事業者へのドライブレコーダー設置補助や見守りステッカーの配布、パトロールグッズの配布や青色防犯パトロール活動への補助や結成支援を実施した。 | B | 市の安心安全を高める施策として、ドライブレコーダーの設置補助及び見守りステッカーの配布を実施し、「地域の見守る目」を増やすことができた(30台の設置補助と見守り活動協力者8台、合計38台分)。また、地域青色防犯パトロール団体等による見守り活動を支援することで、地域の防犯力や見守りの目を維持することにつながっている。 |
| 安 | 9 | ○ | DV及び児童虐待の防止を一体として進める「Wリボンプロジェクト」を実施し、「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現を図っている。 | 男女共同参画室 男女共同参画センター | DV防止対策事業 | 女性に対する暴力をなくす運動期間である11月に、講演会やガンバ大阪の試合にあわせたキャンペーン、大観覧車「オオサカホイール」のWリボンプロジェクトのシンボルカラーへのライトアップ等を実施する。 | B | Wリボンプロジェクトは吹田市が独自に考案したWリボンマークを旗印に「暴力のない安心安全のまち、すいた」の実現を目指す取組であり、Wリボンパッチは他市からも購入依頼があるなど、シティブロモーションに関する貢献度は一定あると考える。 |
| 安 | 10 | | メシアターでは、「500円おひるまコンサート」「朗読エンターテインメント」「親子で楽しむコンサート」など昼間にゆったりとした時間を過ごすことができる催しを実施している。 | 文化スポーツ推進室 | - | それぞれ定期的に事業団の自主事業として開催している。 | A | 吹田市出身の演奏家による事業を多く実施。鑑賞者からは、吹田出身の出演者にもっと出て欲しい。このようなコンサートを増やして欲しい。素晴らしい時間を過ごせた。今後も継続してほしい。平日昼間のコンサートがうれしい。乳幼児連れで来られてうれしい事業だ。などの声をいただき、ゆったりとした時間を過ごすことのできる場所となった。 |
| 安 | 11 | | 市内の保育園、幼稚園、認定こども園を対象に、防火映画会、消防署の見学、消防出初式等への参加等を通じ、幼年期からの防火思想の普及啓発等を図っている。 | 総務予防室 | 自主防火組織育成強化事業 | 各消防署の見学等については、依頼があれば随時実施しており、消防出初式への参加については今年度も計画をしている。 | A | 幼年消防クラブへの参加は年々増加しており、消防出初式等にも積極的に参加している。また、消防本部からの「花火教室」の実施など、防火思想の普及啓発を適切に実施している。 |
| 安 | 12 | | 大規模災害が発生した際、地域防災の担い手である消防団の活動が必須となるため、新規団員募集のPR活動を積極的に実施し、地域防災力の向上に努める。 | 総務予防室 | 消防団運営事業 | 自治会等のイベントにおいて、積極的にPR活動を実施している。また、吹田まつり冊子に団員募集について掲載している。 | B | 平成30年度も9名の入団者があり、一定水準の団員数を維持している。今後も引き続き広報活動等を実施予定である。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|-------|-------------------|---|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 安 | 13 | | 学校、自治会及び事業所などを対象にAED(自動体外式除細動器)の使用を含めた普通・上級救命講習会等を計画的に実施し、自主救護能力や傷病者に対する救命率の向上を図る。 | 警防救急室 | 応急手当普及啓発事業 | 救命講習会を消防主催で年間14回開催するとともに、依頼があれば市内の事業所や各団体の施設に出向き実施している。また、市内の中学2年生(約3,000人)対象に救命講習会を随時実施している。 | A | 救命講習受講者数は10,780人と昨年に続き1万人を超えた。住民による自主救護意識も高まり、住民によるAED使用も増加してきている。 |
| 安 | 14 | ○ | 高齢者から乳幼児まで、どなたでもゆっくり読書やCD、DVDを楽しむ環境がある。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 施設管理事業 | 外国語資料、CD、DVD、雑誌を含む幅広い資料を揃えている。 | A | のべ来館者数 1,868,375人 全所蔵数 1,176,213冊・点(内外国語資料 約8,000冊、CD 約5万点、DVD 約1万点、)個人貸出数、予約受付数は全国でも上位(政令指定都市を除く) |
| 住 | 15 | | 市民の方々に喜んで利用していただくことを目的としたオリジナル婚姻届の作成を進めている。 | 市民課 | - | 「すいたん」版(市民課作成)と「ガンバ」版(シティプロモーション推進室作成)の2種類を利用中。 オリジナル婚姻届を挟み込む冊子に市内のおでかけスポットを掲載している。 | B | 市民の利用状況を検証しながら、よりよいデザインとなるよう研究を重ねていく。 |
| 住 | 16 | ○ | 再生可能エネルギーの導入拡大の創出を目的とした「吹田市電力の調達に係る環境配慮方針」を策定し、公共施設において電力の調達契約の競争入札を実施する場合に、再生可能エネルギー比率の高い電気を供給することを主な入札参加条件とした、環境配慮型の電力調達を行っている。 この取組により、吹田市第2次環境基本計画(改訂版)に掲げる「限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換」を目指している。 | 環境政策室 | - | 平成30年10月から、公共施設計296施設で再生可能エネルギー比率の高い電気の供給を受けている(契約期間:1年間)。 | A | 日刊紙(社会面)で本市の再生可能エネルギー比率に重点を置いた電力調達方式を「吹田方式」として取り上げられた。また、グリーン購入ネットワークが主催する「第19回グリーン購入大賞」の行政・民間団体部門において、大賞を受賞した。 |
| 住 | 17 | ○ | 平成30年4月1日付で「北摂地域におけるマイバッグ等の持参促進及びレジ袋削減に関する協定」を北摂7市3町と食品スーパー9事業者で締結し、平成30年6月1日より順次レジ袋の無料配布を中止している。また、平成30年6月1日付で「北摂マイバッグ持参促進・レジ袋削減協議会」を設置し、さらなる協定締結事業者の拡充に向けた取組などを行っている。 | 環境政策室 | ごみ減量・再資源化啓発事業 | 平成30年度は豊中市が幹事市、池田市が副幹事市を務め、自治体が参加する意見交換会、自治体と事業者が参加する協議会をそれぞれ2回開催した。また、北摂地域マイバッグキャンペーンを1回開催した。協定締結事業者拡充に向けた取組もっており、平成31年4月1日付で、新たに3社が協定締結を予定している。 | A | 北摂地域という広域で自治体と事業者が連携した府内初の取組である。大手新聞各社の取材や無料配布中止の記事掲載、テレビ東京系の番組で取り上げられるなど、メディアからの注目度も高い。また、大阪府主催の市町村会議等で取組事例の紹介を行うなど、先進事例としても注目されている。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|-----------|-----------------|--|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 住 | 18 | | 【追加】吹田市内の「いいでしょ」と思う風景、まちなみを取めた写真や絵を募集し、市民が大切に感じている景観資源を把握するとともに、ホームページ掲載や展示等を行うことにより吹田市の景観をPRしている。また、吹田市屋外広告物条例の制定に向け、屋外広告物に対する市民や事業者の意識の向上を図るための啓発活動を行っている。 | 都市計画室 | 景観まちづくり推進事業 | 市民が大切に感じている景観資源を把握するため、「いいでしょこのまち作品募集&作品展」及び「吹田の景観展」を開催し、吹田市の景観をPRした。また、屋外広告物パネル展を開催し、屋外広告物に対する市民や事業者の意識の向上を図った。 | B | いいでしょこのまち作品の応募数は増えており、認知度は上がってきている。一方で吹田の景観展の来場者数は、低調であり、展示場所や展示方法の検討が必要である。屋外広告物パネル展は、アンケート形式のものにも回答を多くいただき、ある程度の市民意識向上が図れたと考えられる。 |
| 住 | 19 | ○ | 【追加】市民の景観まちづくり活動に必要な経費の一部を補助することにより、景観まちづくりに寄与する活動を積極的に支援している。 | 都市計画室 | 景観まちづくり推進事業 | 「関大前の景観を考える会」、「南吹田駅まちづくり推進市民協議会」、「好いたまちづくり研究会」の3団体に補助金を交付し、景観まちづくりに寄与する活動を支援した。 | B | 3団体に対して補助金を交付し、ワークショップの実施やマナーBOOKの作成など景観まちづくりに寄与する活動を支援できた。 |
| 住 | 20 | | 千里南公園が市民にとって心地よい公園となるように、新たなコミュニティ空間となるパークカフェを設置する「千里南公園パークカフェ整備事業」を実施している。 | 公園みどり室 | 千里南公園パークカフェ整備事業 | 平成30年度内のオープンに向けて、パークカフェの基盤整備工事や、整備・運営事業者と建築物に係る協議を進めた。 | A | カフェ利用者が増え、カフェの設置が多くのメディアに取り上げられたため |
| 育 | 21 | ○ | 市立吹田サッカースタジアムに小学生を招待し、施設見学やガンバ大阪指導のもとピッチ上でサッカー体験を行い、まちへの愛着と誇りを育てている。 | 文化スポーツ推進室 | ホームタウン推進事業 | 市内の小学校21校・1,879人の4年生が5月にガンバ大阪の協力のもと、市立吹田サッカースタジアムでプロの選手の講話、スタジアム見学、ガンバ大阪指導によるピッチ上でのサッカー体験、防災備品備蓄倉庫見学、段ボールベッド組立を体験した。 | A | 国内外に誇れるスタジアムを体感し「驚きと感動」を覚え、皆が憧れるピッチでガンバ大阪とのサッカー体験をすることで参加している子ども達から自然と溢れ出る「笑顔と声」。子ども達の心に残る1日となり「ガンバ大阪・スタジアムのあるまち」としてのふるさと意識の醸成が図られた。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|------------------|---------------------|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 育 | 22 | | ココカラsuitableキッズ事業の運動あそびを通して、子どもの意欲を引出すきっかけとなるアプローチ方法を保育者等に紹介・提案することで、子どもが身体を動かす楽しさを実感し、自発的に身体を動かす機会を増やすことをもって、「こころ」と「からだ」の健やかな育成に繋げる取組を実施している。 | 文化スポーツ推進室 | ココカラsuitableキッズ事業 | 千里金蘭大学との共同研究による身体活動実践集に繋がるサンプル集第2版を作成して、市立園に配付した。また、身体活動実践集を作成するため、保育現場で取得したデータを分析している。その他、子どもの育ちに関する情報発信を目的に、ガンバ大阪を含む、産学官が連携して、保育施設の職員及び小学校教員等を対象にセミナーを実施した。 | A | 大学との共同研究や産学官連携による取組等、関係機関の協力を得て事業を進めることで、自治体だけでは届かない層への情報発信に繋がった。また、セミナーについては、産学官それぞれのホームページに実施報告を掲載したり、「デイリーニューズ北摂」の番組で取上げられたりして、広く情報発信した。 |
| 育 | 23 | | 「すいたティーンズクラシックフェスティバル」は本市に縁のある若者を対象としたレッスンやコンクール、コンサートを通して、市内の若者と市外の若者が切磋琢磨し、それぞれの才能や技術を高め合っている。 | 文化スポーツ推進室 | ティーンズクラシックフェスティバル事業 | コンサートのみではなく、公開レッスンを実施したりと、将来性豊かな演奏家の発掘に努めます。 | B | 昨年度の地震の影響により、コンクールを中止とした。公開レッスンやプラスクリニックといった、吹田の若い音楽家の育成に重点を置いた取り組みを実施。また、メイシアター少年少女合唱団コンサートを開催。アンケートでは、歌声に感動したと声を多数いただき、吹田の音楽文化の創造、発展及び向上に寄与した。 |
| 育 | 24 | | 私立認定こども園、私立・市立保育所等で、育児教室をはじめ、地域の児童と園児の交流、施設の一部開放、育児相談、サークル活動への支援など、関係機関との連携を図りながら、多様な子育て支援に取り組んでいる。 | 子育て支援課 保育幼稚園室 | 地域子育て支援センター事業 | 育児教室は、公立1,415組、私立1,086組が参加(H29年度:公立1,831組、私立1,200組)。育児相談は、公立3,522件、私立1,245件が利用(H29年度公立3,168件、私立1,255件)。 | A | 子育てに関する悩みや相談の場、交流の場として、子育てへの不安解消につながっている。(平成30年度市民意識調査(n=1,165)において、子ども施策全体の評価ではあるが、子どもを育てる環境は重要であると60.6%が回答し、現状に37.4%が満足、6.2%が不満があると回答。) |
| 育 | 25 | | 月齢別の親子教室や父親教室の毎月定例開催や、子育て講座の開催、多胎児・転入者・外国人親子等の交流会を開催している。 | のびのび子育てプラザ | のびのび子育てプラザ事業 | 2か月から参加可能な月齢別の親子教室や父親教室を開催し、在宅で子育て中の親子への支援を行っている。平成30年4月より親子教室の対象月齢を細分化し、より月齢の近い親子の交流ができるよう工夫している。 | B | 現在の開催内容以上の充実は困難なため、貢献度は同等。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

- A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。
 - B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。
 - C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。
- ※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|------------|---|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 育 | 26 | | 「子育て支援コンシェルジュ事業」を平成28年(2016年)4月から実施して、妊婦から子育て世代の相談を受け必要に応じて子育て関係機関と連携をとって支援している。 | のびのび子育てプラザ | 子育て支援コンシェルジュ事業 | のびのび子育てプラザにて、来館や電話の他メールでも相談を受けており、事業の周知が進む中で相談件数が増加している。平成29年11月に開室した高野台のびのびルームについても徐々に周知が進み、昨年度は同ルームにて38件の来館相談があった。市民のより身近な場所で定期的な相談会を実施している。 | B | 事業内容の大幅な拡大は望めないため、貢献度は同等。 |
| 育 | 27 | ○ | 妊娠・出産子育て期における様々なニーズに対して切れ目のないように相談、支援を行う「吹田版ネウボラ」を整備している。 | 保健センター | 妊産婦相談支援事業 産後ケア事業 産前・産後サポート事業 産後家事支援事業 妊婦・産婦・乳児一般・乳児後期健診事業 訪問指導事業 | 妊娠届出時に保健師・助産師による全数面接を行い、各種事業の紹介や、必要な妊産婦には継続した支援を実施している。平成30年6月より産婦健康診査の助成、7月より産後家事支援事業を実施し、よりきめ細かく産前産後のニーズに対応している。 | A | 平成30年度より産婦健康診査を実施することにより産後の体調不良を早期に把握し、産後早期の支援充実に努めた。また、家事支援事業を開始し、産後の育児や家事の負担軽減を図っている。今まで以上に必要なケースの把握やきめこまかい支援ができるようになっている。 |
| 育 | 28 | ○ | 児童・生徒が、本市に縁があり、様々な分野で活躍する人と出会い、夢や目標をもって生きることの大切さを学ぶ夢と希望を広げる出会い事業を実施している。 | まなびの支援課 | 夢と希望を広げる出会い事業 | 『夢と希望を広げる出会い～未来への備え～inスタジアム』を開催し、Panasonic Stadium Suitaに希望する市内小学4年生を招き、国際試合が可能なサッカースタジアムを体感することで、まちへの愛着と誇りを育み、また、トップレベルの選手とふれ合う場を通じて、子どもたちが自らの夢を見つけながら目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方について考える機会を提供した。さらに、危機管理室の協力のもと、災害用備蓄物資の保管や救護物資等の集積・仕分けや配送場所としての機能を有するスタジアムにおいて、段ボールベッド等の組立体験を通じて、防災意識の向上も図った。 今年度から本事業の趣旨に賛同し、ブレイクダンサーの方が講師として協力したいという申出もあり、様々な分野での講師をお招きして本事業を展開できた。 | A | Panasonic Stadium Suita及びガンバ大阪を活用する等、市の魅力を発信することに繋がっている。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する
取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの 場面 | No | 重点 取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|------------|----|----------|--|-------------|---------------------|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 育 | 29 | | 市内全図書館と自動車文庫で赤ちゃんとその保護者に絵本を1冊プレゼントするブックスタートを実施している。また、絵本の読み聞かせやわらべうた手遊びに親しむ「ブックスタートのひろば」で子育て支援を実施している。 | 中央図書館 | ブックスタート事業 | 絵本を赤ちゃんに贈り、吹田市の子供たちの子育て環境が向上している。事業には図書館で養成した市民ボランティアに協力していただいている。 | A | 配付冊数 2,635冊、配付率80% |
| 育 | 30 | | 子どもの読書振興のために市内各図書館でイベントを開催している。こども読書の日に合わせて人形劇やおはなし会を行う「子どもと本のまつり」を市内全図書館で開催している。 | 中央図書館 | 主催行事事業 | 「子どもと本のまつり」は吹田子どもの本連絡会との共催で実施し、今年度で第35回を迎える。 | A | 定例行事 1002回開催 参加者 7,572人 第35回「子どもと本のまつり」のべ参加2,515人 |
| 育 | 31 | | 中高生年代への働きかけとして、YAコーナーを設置したり、図書館ボランティア「YAサポーター」の募集や、読書体験を深めるきっかけとなるビブリオバトルなどを開催している。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 主催行事事業 | YAコーナーではテーマを決めておすすめ本を紹介しています。職場体験の中学生にも協力してもらっています。ビブリオバトルは、自分の読書体験から、おすすめの本を紹介して読みたいチャンプ本を決める催しで、YAサポーターも運営に参加しています。 | A | YAコーナーの設置 全館(山田分室を除く) ビブリオバトル 実施 1館 参加人数 19人 |
| 育 | 32 | | 子どもや親子で地域の伝統的文化を体験しながら学習する体験学習や体験型展示を実施している。 | 文化財保護課(博物館) | 公開展示事業 | 毎年、小学校3年生社会科副読本と連動した体験型演習「むかしのくらしと学校」を開催している。また、親子体験学習「しめ縄作り」を毎年実施している。 | A | 学校団体見学のアンケートの結果、教員からも高い評価を得ており、児童の満足度も高い。 |
| 育 | 33 | | 市内のこども会加入の小学生を対象としたスポーツ大会を開催している。 | 青少年室 | 吹田市こども会 スポーツ大会事業 | 中の島スポーツグラウンドにて、こども会のスポーツ活動の推進により、青少年の体力、協調性の向上を図るため、ソフトボール、キックベースボールの大会を実施している。当該年度は6月15日を締切に参加チームを募集し、7月28日、30日に実施。(吹田市こども会育成協議会に委託) | B | ソフトボールが11チーム、キックベースボールが7チーム参加した。本事業により、スポーツ活動を通してこども会の交流を行うことができた。しかし、参加チームが年々減少していることや、猛暑により、開催日の変更等事業の見直しが必要である。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|---|------|-----------------|--|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 育 | 34 | | 市内在住・在学・在勤の青少年グループによるロック・ポップス等の演奏と、ヒップホップ等のダンス発表の機会を提供している。 | 青少年室 | ヤングフェスティバル事業 | メシアターの中ホールにて、市内在住・在学・在勤の青少年グループによるロック・ポップス等の演奏と、ヒップホップ等のダンス発表の機会を提供している。当該年度は11月18日に実施。(吹田市青少年指導員会に委託) | A | メシアターの中ホールにて、市内在住・在学・在勤の青少年22グループによるロック・ポップス等の演奏が披露された。本事業により青少年指導員と青少年との結びつきを深め、地域における連帯意識の向上に寄与している。 |
| 育 | 35 | | 野外活動等の実習を通して、宿泊キャンプやゲーム研修などから基礎的知識・技術を学び、地域で活躍する青少年リーダーの養成をしている。 | 青少年室 | 吹田市青少年リーダー講習会事業 | 6月2日、3日に1泊2日で吹田市自然体験交流センターにて実施、平成31年2月16日、17日に少年自然の家にて実施。地域で活躍する青少年リーダーの育成を図るため実施し、宿泊キャンプや、ゲーム研修などから基礎的知識、技術を学び、青少年リーダー養成のきっかけとしている。 | B | 計56名の子供がキャンプへ参加した。本事業は、過去の参加者が青少年リーダーとしてキャンプに参加している事例が多くある。昨今青少年リーダーは非常に少なくなっているため、本事業における青少年リーダー養成の必要性は非常に大きい。 |
| 育 | 36 | | 青少年活動に関わっている人、今後関わる人を対象に、青少年の健全育成を推進するための講座の開催している。 | 青少年室 | 青少年指導者講習会 | 地域の大人が子供を見守り、育てる環境づくりを進めるための指導者の育成を図り、青少年の健全育成を推進するために、配慮を要する子供との関わり方や、救急法などの実技講習のほか、課題となるSNSや薬物乱用に関する講演を年6回開催した。 | B | 参加者ニーズに見合う内容を吟味し実施するよう努力している。講習会で得た知識や技術を地域に戻られた際に活用していただいている。 |
| 育 | 37 | | 不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な問題を抱えた青少年が、自然体験や環境教育を通して思いやりの心や社会性を身につけ「生きる力」を自ら育むための活動を実施している。 | 青少年室 | 山の学校・海の学校事業 | 毎年、夏と冬に小学4年生から中学生の児童・生徒を対象としたキャンプを開催している。夏は、カヌー・クルージング等の海洋体験を行い、冬は、雪遊び・スキーなどの自然体験活動を展開している。平成30年度より、参加費補助制度を創設。 | A | 夏・冬計32名の児童・生徒が参加した。過去に本事業へ参加していた児童・生徒がキャンプへ引率していること、大学や高校へ通うようになっていことから、本事業は社会へ踏み出す一助となっている。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する
取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|---|---------------|----------------|--|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 育 | 38 | | 子どもたちの安心安全な居場所として、学校の運動場などを利用して、放課後の居場所づくりとして「太陽の広場」を市内全36小学校で実施している。 | 青少年室 | こどもプラザ事業 | 太陽の広場」事業は、水曜日を中心とした放課後や長期休業日に、地域の実情に合わせた回数を市内全36小学校で実施している。「地域の学校」事業は、学校休業日に地域のボランティアが主体となって企画運営を行っている地域活動で、地域の方が持つスキルを活用して、子供たちに様々な体験学習の場を提供している。(各中学校区の地域教育協議会に委託) | A | 地震や台風などの自然災害の影響により、活動が中止になることもあったが、状況が回復と同時に再開していただき、子供たちへの安心安全な居場所の提供ができた。 |
| 育 | 39 | | 自然体験交流センターでは、青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物のいのちの尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然を生かした生涯学習及び交流の場を提供し、青少年の社会性及び豊かな人間性を育むための活動を実施している。 | 青少年室 | 自然体験交流センター管理事業 | 指定管理制度により管理運営を委託。事業に関しては指定管理者が実施し、野外活動をはじめ、環境学習や社会課題に対応した事業などを多く実施した。(現在の指定管理者との契約は平成33年度まで。) | A | 739団体、43,455名の利用があった。大阪北部を震源とする地震、猛暑、台風といった自然災害の影響から平成29年度より利用者数が1,620名減少した。しかし、指定管理制度を導入後、利用者は増加しており、利用満足度も向上している。 |
| 育 | 40 | | 市内の小学校などに対して、環境教育としての自然観察ゾーン等を活かした環境学習や自炊活動を通しての食の大切さを意識する食育の活動などの取り組みを行っている。 | 少年自然の家 | 自然観察会事業 | 自然観察会は、一般市民を対象としたものを5回、保育園等には随時開催します。自然観察及び自炊活動は、事前にプログラム化を説明し、希望がある場合は随時直接指導します。 | B | 自然観察会として、一般市民を対象とした事業を15回(一般市民対象5回、保育園等10回)532人が参加、また、依頼のあった団体への自然観察指導を29団体、1,459人に実施し参加者からは、「見る観察だけでなく触って感じ取れる観察であり貴重な体験をした」などの感想があった。市内の小学校及び家族並びに少人数グループ等、数多くの団体がカレー作りやBBQなどの食の体験を通して、コミュニケーションの場が図られた。 |
| 学 | 41 | ○ | 市内の大学と幅広い分野において連携している。 | シティプロモーション推進室 | 大学のあるまちづくり事業 | 市内の大学との連携推進協議会を開催し、幅広い分野の意見交換や情報共有の実施により、市との連携体制強化につながる成果があった。また、市職員による大学での講義や市の課題をテーマとしてPBL方式の授業に様々な室課が参加。 | A | 関西大、大阪学院大、大和大、千里金蘭大と計8回協議会を実施し、幅広い分野の意見交換や情報共有により、市との連携体制強化につながった。また、市職員による大学での講義やPBL方式の授業により、学生の市政への関心や理解を深めるきっかけとなった。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | |
|--------|----|------|--|-----------|--------------------|---|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 評価の理由 (市民の反応等) |
| 学 | 42 | | 千里金蘭大学、(公財)文化振興事業団との共催によるファミリーミュージカルを実施し、学生が公演スタッフや出演者として作品を作り、公演する体験をしている。 | 文化スポーツ推進室 | - | 平成31年3月にファミリーミュージカルを開催予定。(事業団と共催で実施) | A プロの劇団と大学生7人、小学生から中高年までの市民20人が創る味わい深く温かくパワーある舞台。参加者及び鑑賞者からは、元気をもらった。今後も続けて欲しい。市民を巻き込んだミュージカルいいですね。市民参加の演劇を増やして欲しい。地域に取材した創作ミュージカルを上演することで、地元への愛着を醸成することができた。との声をいただき、地域資源を生かした学びの場となっている。 |
| 学 | 43 | | 大阪大学、(公財)文化振興事業団との共催による演劇公演を実施し、学生がプロの俳優やオーディションで選ばれた市民とコミュニケーションを取りながら演劇作品を作り公演する体験をしている。 | 文化スポーツ推進室 | - | 大阪大学との共同事業を開催予定。(事業団と共催で実施) | A 阪大収蔵の学術資料をテーマにした演劇公演の上演は大学があるまち吹田らしい特色ある事業を実施。学生が制作スタッフを務め250名の市民に無料で鑑賞してもらった。鑑賞者からは、レベルが高く今までにない演劇だ。ユニークな試み非常に素晴らしい上演だった。との声をいただき、個性豊かな地域文化の創造と発信に寄与した。 |
| 学 | 44 | | 歴史と文化のまちづくりにかかる講座、学習会、芸術鑑賞、音楽鑑賞、地域や教育機関との連携事業、国際交流促進に関する事業、伝統文化継承に関する事業等を行うことにより、地域に息づく歴史及び文化を保存し、発展させる。 | 文化スポーツ推進室 | 歴史と文化のまちづくり活動推進事業 | 江戸時代の庄屋屋敷という施設の特徴を活かし、学習・教養講座、まちづくり調査研究、さくらまつり、もちつき、ひなまつり等地域交流事業や、芸能・芸術鑑賞・演奏会事業など、年間を通して63事業を実施し、4,468人の参加があった。 | A 江戸時代の民家を活用し多彩な事業を展開している施設は、近隣市町村には無い。事業参加者へのアンケート調査結果によると「大変良かった」「良かった」との回答が90%以上を占め、好評を得ており、シティプロモーションに貢献している。 |
| 学 | 45 | | 家庭や地域など、それぞれが所属するコミュニティにおいて、環境教育を実践する人材を育てるため「すいた環境サポーター養成講座」を実施している。 | 環境政策室 | すいた環境サポーター養成講座運営事業 | 環境教育が実践できる「伝える力」を身に付け、受講後、それぞれの家庭や地域などで自らが実践すると共に、「すいた環境サポーター」として登録し、各種環境ボランティアとして本市の環境施策や環境活動に参画する人材を育成することを目的として実施している。対象は、18歳以上の方であれば市内外在住在勤を問わない。 | B 平成30年度は28名の申込みがあり、計14回のプログラムを実施。15名が講座を修了した。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|---|---------|---------------|---|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 学 | 46 | | 資源リサイクルセンターを拠点として、来館者が楽しみながらリサイクルを実践できる市民工房の運営や、環境問題に関する各種講演会やイベントの開催等、様々な事業を実施している。 | 環境政策室 | 資源リサイクルセンター事業 | 施設の指定管理者である(公財)千里リサイクルプラザと連携をとりながら、ごみの発生抑制を基調とした循環型社会を構築するため、市民の参加のもと様々な事業を実施している。平成30年度は、市民工房の運営、実践教室の開催のほか、市民、事業者、行政が参画した万博ごみゼロウォーク、エキスポシティを会場とし地球温暖化防止を含めた環境問題を啓発するぐるぐるアースフェスタ、小中学校等での環境学習の成果を発表する環境学習発表会等の各種イベントを開催した。また、常設のレンタルフリーマーケットも新たに設置した。 | B | 平成30年度実績 ・市民工房 4,738名(見学者数)、3,779名(指導者数) ・実践教室 335回(実施回数)、682名(延受講者数) ・万博ごみゼロウォーク 33団体、427名 ・ぐるぐるアースフェスタ 約3,500名 ・環境学習発表会 5校1団体(発表団体数)、172名(参加者数) ・レンタルフリーマーケット 2,030名(来店者数)、115店舗(出店数) |
| 学 | 47 | ○ | グローバル社会を生きぬくコミュニケーション力の育成に向けて、全小学校の6年生が体験学習施設(Osaka English Village)を活用し、英語コミュニケーション体験を実施している。 | 指導室 | 英語マスター事業 | 昨年度までに全36小学校が文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、1年生から外国語活動を行いコミュニケーション能力の素地の育成に取り組んでいる。6年間の外国語活動で学習したことをOSAKA ENGLISH VILLAGEでコミュニケーション体験を行い、外国語への興味・関心を向上させ、中学校での英語学習の意欲向上につなげる。 | A | 児童が学習したことを使って主体的に英語コミュニケーションを図れるよう、OSAKA ENGLISH VILLAGEと協力して、取組を進め学習意欲の向上を図ることができた。 |
| 学 | 48 | | 市民の生涯学習の機会を提供するため、生涯学習吹田市民大学を開設している。大学連携講座は、大学教員による、歴史や文学、経済、工学など専門的な内容。市内の関西大学・千里金蘭大学・大阪学院大学と共催して実施している。 | まなびの支援課 | 生涯学習吹田市民大学事業 | 市内の関西大学・千里金蘭大学・大阪学院大学と共催で実施し、延べ1,578名が受講した。 | A | 各大学を会場として開催し、大学のあるまちとして市の魅力を発信している。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する
取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの 場面 | No | 重点 取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|------------|----|----------|--|-----------------|-------------------|--|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 学 | 49 | | 生活上の身近な疑問に答えたり、調べものを図書館の司書がお手伝いをするレファレンスサービスを実施している。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 | 相談業務(レファレンスサービス)は図書館の重要な根幹業務と位置づけしており、全市職員が司書資格を有し(庶務担当を除く)、幅広い相談業務に全館で対応している。調査事例は、国会図書館「レファレンス協同データベース」にも提供し、全国で活用されている。 | A | 受付件数 15,289件 |
| 学 | 50 | | 市立図書館の多くが駅前すぐの好立地を生かし、各種イベント、講座を、関連の資料紹介と合わせて開催している。 | 中央図書館 | 主催行事事業 | 毎年、読書週間に合わせて「図書館講座じゅずつなぎ」を開催し、博物館学芸員や、市民の方を講師に招き、地域の歴史や文化に関する講座を企画しています。 | A | 成人向け講座 31回開催 参加者 645人 内「図書館講座じゅずつなぎ」7館で開催 参加者 161人 |
| 学 | 51 | | 図書館公式マスコット「すいぼん」をアイコンに、ツイッターやフェイスブックで、おすすめの本の紹介や図書館イベント、地域話題を情報発信している。 | 中央図書館 | コンピュータシステム整備事業 | 図書館以外の市内、府下のイベントに関しても、リツイートやシェアで情報発信している。 | A | ツイッター 投稿件数 452件 フェイスブック 投稿件数 563件 |
| 学 | 52 | | 地域の歴史や文化を歴史資料を通して学び、発見、見直していくため、資料展示や講演会・講座等の普及活動を実施している。 | 文化財保護課 (博物館) | 公開展示事業 | 吹田の通史展示と窯業をテーマにした常設展示に加え、毎年、年間6回の企画展示を実施している。企画展示においては関連イベントとして講演会、歴史講座、体験講座を多数実施している。 | A | アンケートの結果「よかった」「とてもよかった」の上位評価が9割前後を占めている。 |
| 学 | 53 | | 【追加】 令和元年度から11年をかけて耐震対策を含めた大規模修繕工事を計画しており、同住宅保存の重要性をPRし大規模修繕の財源に充てるために旧西尾家住宅大規模修繕基金を設置する。 | 文化財保護課 (博物館) | 旧西尾家住宅大規模修繕基金積立事業 | - | - | - |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する
取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの 場面 | No | 重点 取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | |
|------------|----|----------|---|------------------------|---------------------|---|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 評価の理由 (市民の反応等) |
| 学 | 54 | | ひきこもりや不登校等、思春期・青年期の問題への理解を広めるための啓発講座を開催している。 | 青少年室 (青少年活動サポートプラザ) | 青少年活動サポートプラザ青少年相談事業 | 一般公開講座として、「発達障がい理解と支援」など社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の実態や支援についての知識を広める講座を実施しました。また、相談当事者のご家族に対しては、医師の視点や、ひきこもり経験者の視点から支援の在り方を勉強する機会を設けた。 | A 青少年を取り巻く社会の急激な変化により、青少年の社会的自立の遅れは今後もますます深刻化していくと考えられ、子ども・若者総合相談センター機能の充実とともに、早期発見・早期支援への取り組みは今後もさらに重要である。 |
| 働 | 55 | | 企業による選考解禁の時期に合わせ、大学生等を対象に、地元企業への就職ニーズと優秀な人材を求める地元企業の採用ニーズをサポートすることを目的に市内企業を含めた就職説明会を実施している。 | 地域経済振興室 | 地域就労支援事業 | 平成30年度において、2019年卒大学生等の選考解禁の時期に合わせ、市内大学や金融機関、商工会議所と共同で大学生等を対象とした就職説明会を実施する。またハローワーク淀川と共同で大学生をはじめとした若年者向けの就職説明会を9月に実施する予定である。 | B いずれの面接会においても、市内学生を中心とする若年層と市内企業とが出会う場所としてマッチングを図ることにより、市内企業の魅力を知るきっかけとなり、雇用創出につながる取組みである。 |
| 働 | 56 | | 就労支援機関である、「JOBナビすいた」では、求職者の個々の状況に応じて就労相談、スキルアップ支援、就職活動に必要な情報提供等を行いながら、職業紹介までトータルに支援を実施している。 | 地域経済振興室 | 地域就労支援事業 | JOBナビすいたにおいて、利用者の来所及び相談件数の増加を促すため、広報の充実や関係機関との連携強化をはかっていく。さらに利用者の求職者の満足度を高め、市内を中心とする企業への就職決定につなげるため、市内企業の魅力を発信するとともに、年間を通して様々な就職面接会を開催する。また、求職者へのスキルアップ支援として就職に有利な資格が取得できる就職支援講座の実施を予定している。 | B 利用者の来所や相談件数の増加を促進するため、市報すいたでの広報やJR吹田駅地下道の掲示版の充実を図った。またシニア層やパートタイマーなどに特化した面接会を実施することにより、求職者と企業のマッチングを図り就職決定につなげることができた。またパソコン講座を新たに実施することにより、就職を目指す求職者にスキルアップや就職支援に取り組むことができた。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|---------------|--------------|--|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 働 | 57 | | 介護保険事業者への研修費補助や面接会等の取組により、市内の介護保険事業者を支援し、介護人材の質の向上と確保・定着を支援している。 | 高齢福祉室 | 介護人材確保事業 | 介護職員初任者研修と介護福祉士実務者研修の受講を支援する市内の介護保険事業者に対し、補助金を交付。また、ハローワーク淀川や隣接市等と連携し、合同就職面接会を実施。他にも、大阪府・北摂市町村・北摂社会福祉協議会・府社協老人施設部会との連携のもと、採用戦略を研究するとともに介護職のイメージアップなどの取組を進めている。 | B | 10月より介護資格取得支援事業として介護サービス事業者向けの補助金の支給を開始した。期間が半年だったこともあるが、予算執行率が3割であり、事業の周知を図る必要がある。ハローワーク淀川や隣接市等と連携し、合同就職面接会を9月・2月に実施し、一部採用に繋がったが、介護人材不足の解消には今後まだまだ取組む必要がある。大阪府・北摂市町村・北摂社会福祉協議会・府社協老人施設部会との連携し、「福祉・介護」の魅力をアピールできる次世代リーダーを養成し、33名に「介護の魅力PR隊」とし委嘱した。「介護の魅力PR隊」としての活動はこれからである。 |
| 働 | 58 | | ビジネス支援コーナー(江坂図書館、千里図書館)やハロージョブコーナー(さんくす図書館)を設置して、仕事や就職に役立つ本を提供している。また新聞記事検索サービスなど各種オンラインサービスを活用した情報提供も行っている。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 | 「ハロージョブコーナー」は「JOBナビすいた・JOBカフェすいた」と連携し、資料提供を通して就職活動を支援している。また新聞記事検索サービスのほか、日経テレコンなど各種オンラインデータベースも利用できる。(一部利用館に制限あり) | B | 江坂図書館…ビジネス全般。業界関係の新聞・パンフレットも保有。千里図書館…起業支援中心。さんくす図書館…就職に役立つ本や、公共図書館ではあまり収集していない資格取得のための問題集なども提供。 |
| 交 | 59 | ○ | 市民公益活動センターにて、市民公益活動団体に会議室を貸与するほか、活動を支援する講座・交流会を行っている。 | 市民自治推進室 | 市民公益活動センター事業 | 市民の誰もが集える場として、交流スペースや会議室(有料)の提供を行っている。また、特定のテーマで自由に語り合えるテーマカフェを始め各種講座等を開催している。 | B | 交流スペースを含め、市民公益活動センターを62,808人の市民の方にご利用いただきました。その他、テーマカフェを月1回開催するとともに、市民等が市民公益活動に対する理解を深める講座を32回開催しました。 |
| 交 | 60 | ○ | 市内最大級のイベントである吹田まつりへの補助を実施している。 | シティプロモーション推進室 | 吹田まつり補助事業 | 「好いたおどり」やパレード等、従来の催しのほか、昨年からは始まったスプラッシュパーティを今年度も開催予定だったが台風の影響により中止となった。 | A | 台風の影響により中止となりましたが、10万部作成したプログラムを駅等に配架し、多くの方に手に取ってもらえたことや中止の際の問合せの多さ等市民の方からのたくさんの関心があったため。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|---|--------------------|---------------------|---|-------------------|---|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由(市民の反応等) |
| 交 | 61 | | メシアターでは、プロの俳優と、学生、多世代の市民と一緒に舞台作品を作り上げ、作り手の多世代交流や、初めての人が演劇と身近に接する機会を作っている。 | 文化スポーツ推進室 | - | 演劇のオーディションには多くの市民や学生が参加しており、多世代の交流が図られている。 | A | 千里金蘭大学でコミュニケーションワークショップを1回実施した。このワークショップをきっかけに、日頃声を交わしたことがない学生同志が、親密に言葉を交わすようになったり、学生の想像力が広がった様子がみられると担当教員から高い評価を受け、多くの人が交流する場となった。市民参加演劇を実施しなかったことに対し、素晴らしい事業だから毎年実施してほしい 来年は実施があるのか、質の高い市民参加事業を実施している公共施設がある吹田は誇らしいからとお願いの申し入れもあった。 |
| 交 | 62 | | 健都イノベーションパークの進出事業者と市内事業者の連携・活用を推進する。また、多世代が身近に利用できる図書館を多機能化した(仮称)健都ライブラリーを起点に、多世代交流を促進する。 | 北大阪健康医療都市推進室 | 北大阪健康医療都市推進事業 | 健都イノベーションパークにおいて、フラッグシップとなる企業に対し土地売買契約を締結した。また、健都ライブラリーの実施設計を行った。 | A | 施設そのものは完成していないものの、健都イノベーションパーク・健都ライブラリーともに新聞等メディアで取り上げられ、注目を浴びた。 |
| 交 | 63 | ○ | 「千里市民フォーラム」や「千里キャンドルロード」などの市民活動を支援する。 | 計画調整室 | 千里ニュータウンまちづくり広域連携事業 | 月1～2回開催される会議やサロンにおいて、意見交換や情報共有を行うほか、イベント周知などの支援を行い、市民と協働で取り組んでいる。イベントには、多くの市民が訪れ、千里ニュータウンへの関心や愛着を深める機会となっている。また、上記取組は豊中市と連携して取り組んでいる。 | A | 各会議には約15人の市民が参加し、千里ニュータウンの魅力向上に資するイベントの企画等に取り組んでいる。特に「千里キャンドルロード」においては、平成30年度で7回目の開催であり、来場者数は10,000人を超え、当日ボランティアは約1,300人が参加するなど市民の関心の高さがうかがえるイベントとなっている。 |
| 交 | 64 | | 日本最初の大規模ニュータウンである千里ニュータウンのまちづくりの歴史や住民の生活文化に係る資料展示のほか、講演会やイベント等を通して、地域からの情報発信や情報交換を行うことにより、多様な主体の相互交流や連携の促進、千里ニュータウンのまちづくりの推進に取り組んでいる。 | 計画調整室(千里ニュータウン情報館) | 千里ニュータウン情報館運営事業 | 千里ニュータウンの計画当時のジオラマや12住区の紹介などの常設展示のほか、年に2回程度の企画展や他施設との共催事業などに取り組んでいる。地域住民だけでなく、他府県や海外などからも見学があり、千里ニュータウンへの関心や交流を深める機会となっている。 | B | 企画展やイベント等適宜開催することにより、来館者数は前年に比べ、増加した。また、本市の千里ニュータウンは日本最初の大規模ニュータウンということもあり、他府県や海外から千里ニュータウンについて10件の視察、取材等の依頼があった。情報や魅力の発信、多様な団体との交流を深める施設となっている。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|--|------------------------|-----------------------|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 交 | 65 | | リサイクルフェアを開催し、地域に還元している。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 | リサイクルフェアを実施していない館ではリサイクルコーナーを常設し、市の財産を市民に還元している。 | B | 実施 3館 参加人数 600人 |
| 交 | 66 | | 青少年が自由に来館し、自立や社会参画を促すことを目的とした居場所を備え、青少年の交流を支援している。 | 青少年室 (青少年活動サポートプラザ) | 青少年活動サポートプラザ施設運営事業 | 未来館3階の交流ロビーには小・中・大学生が集まり、年代(学年)・学校を越えた自然な交流が行われている。一方で青少年の交流・居場所事業については青少年活動の実績のある民間団体等に委託し、ロビーワーカーの育成・活用と夏祭りなどの事業を実施した。 | A | 子供が大人への成長過程において、特に重要な青年期に関わる事業である。青少年が様々な活動を通じて、情報を得、他者と交わることにより、自主性や協調性を育み、成長できるよう支援している。 |
| 遊 | 67 | ○ | 情報発信プラザを拠点として市内の魅力的な観光スポットや北摂近隣市の情報を紹介している | シティプロモーション推進室 | 観光企画推進事業 情報発信プラザ事業 | 情報発信プラザ(Inforestすいた)で市内の各施設やイベント情報をはじめ、近隣市のリーフレット等も配架した他、ガンバ大阪や鉄道事業者など市の特性を紹介するフェアを11回実施。また、新たにマンホールカードの配布や鉄道会社と連携したスタンプラリーを実施した。 ・年間来訪者数:413,818人 | A | 多様な配架物で情報発信ができた他、行政の取組を紹介する展示フェアを実施することで、内容に広がり生まれた。(水道事業) また、来訪者数が前年を上回った。(平成29年度:395,393人) |
| 遊 | 68 | | メシアターでは、海外オーケストラやバレエ団などの招へいから、関西演劇界の定期的な公演やオリジナルプロデュース公演、狂言公演や上方落語の一場会など、良質な舞台芸術を数多く手がけ、市内市外から多くの観客を集めている。 | 文化スポーツ推進室 | 市民劇場等運営委託事業 | クラシックコンサート、バレエ公演、平和コンサートを実施している。 | A | 昨年度は地震による影響を受け、会場や内容を変更し、クラシックコンサート、バレエ、宮沢和史コンサートの計3公演を実施。全て大ホールから中ホールに変更したが、アンケートでは、次回もメシアターでの公演を期待する声を多数いただき、市民の方々の趣味などを楽しむ時間となっている。 |
| 活 | 69 | | 公募吹田市美術展覧会を秋に実施し、絵画・彫刻・写真・書など市内外から作品を募集している。 | 文化スポーツ推進室 | 市展運営委託事業 | 10月2日～8日までの会期で、メシアターで開催。公募による参加点数は254点で、うち入選作232点と招待作家・審査員等の作品を含めた274点を展示した。会期中の観覧者数は1,784人で、多くの市民に芸術作品に触れる機会を提供した。 | B | 文化芸術活動の成果を発表する場として、多くの市民が応募している。また、審査員による作品講習会ではスキルアップのための議論が熱心に交わされており、交流・学習の視点からも効果のある事業である。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する
取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの 場面 | No | 重点 取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|------------|----|----------|---|---------------|-------------------|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 活 | 70 | | 本市北部にある千里丘陵の原風景である竹林に親しみ、千里の竹林の保全意識の高揚を図ることを目的に千里の竹あかりを実施している。 | 公園みどり室 | みどり普及・啓発事業 | 台風により、会場が大きな被害を受け、来場者の安全が確保できなくなったため、開催しなかった。 | B | 開催しなかったものの、市民に親しまれているため。 |
| 活 | 71 | | 書架の上などの館内の空きスペースに市民の絵画、写真等の作品を定期的に募集して展示している。 | 中央図書館 | 図書館運営事業 主催行事事業 | 2か月に一度作品展示希望者を個人単位で募集している。作品展示者が講師となった作品作り講座も実施するようになり、地域の方の交流の場にもなっている。 | A | 作品展示者を講師としたちぎり絵や遊文字講座、作品の写真を用いた行事などを行った。子供から大人まで幅広い年代の方楽しんでいただいた。 |
| 全 | 72 | ○ | 【追加】 吹田市イメージキャラクターすいたんの運用 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | 【着ぐるみの運用】 市内および近郊で行われるイベント等に参加するとともに、申請者に対し着ぐるみの貸出を行った。 →活用件数:231件(うち貸出件数175件) 【デザインの運用】 申請者に対し、すいたんのデザインの使用許可を出した。 →使用件数:181件 | A | 着ぐるみ、デザインとも、使用件数が前年を上回った(平成29年度:着ぐるみ228件、デザイン154件)。各室課が作成するチラシや冊子等へすいたんのイラストが使用される件数も増えており、市民の間に広く「すいたん」を浸透させることができた。また、着ぐるみ及びデザインの使用後は、実施報告書を提出することとしているが、報告書には「大変喜んでくれた」「たくさんの人が集まってくれた」という声が多くみられ、市民の地域に対する愛着の醸成につながっているものと考えられる。 |
| 全 | 73 | | ガンバ大阪を応援する取組を実施し、ホームタウンのまちとしてPR活動を行う。 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | ガンバ大阪のホームゲーム開催時にすいたんがPanasonic Stadium SUIITAへ行き、サポーターと共に応援した。また、試合当日(試合の開催が閉庁日の場合は前日)には職員がユニフォームや青い服を着用して執務にあたる「ブルー大作戦」実施。 | A | すいたんのSNSで応援の投稿を行っており、ガンバ大阪サポーターからのすいたんの認知度も高く、ガンバ大阪を応援している市の姿勢を表現する存在となっている。 |
| 全 | 74 | ○ | すいたんや、シティプロモーションのキャッチフレーズである"suitable city"のグッズ等プロモーション製作物で、吹田市のPR活動を行っている。 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | すいたんマスコット(ガンバ版・普段着版)、suitable cityピンバッジの販売のほか、すいたんのラッピングカー、吹田市PR冊子を製作。また法制室と協力し、市の封筒デザインを刷新しsuitable cityのロゴをあしらった。 | A | 人気商品のすいたんマスコットは普段着774個(1000個作成)、ガンバ版(小)全て(1500個作成)、ガンバ版(大)576個(650個作成)を販売。ラッピングカーは稼働日数157日で、多くの人の目に触れる機会を作った。 |

【調査票1】

令和元年度シティプロモーションに関する取組の状況

「評価」欄について

A:本市のシティプロモーションに関する貢献度が高い。

B:本市のシティプロモーションに関する貢献度が一定程度ある。

C:本市のシティプロモーションに関する貢献度が低い、又は低下している、あるいは今後廃止予定。

※シティプロモーションに関する貢献度とは、取組が今吹田市に住んでいる市民に対して「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった本市への愛着や誇りをどれだけ醸成するかの度合い。

資料4

| 暮らしの場面 | No | 重点取組 | 取組内容 | 所管課 | 実施計画事業名 | 平成30年度の取組結果 | | |
|--------|----|------|---|---------------|--------------|---|-------------------|--|
| | | | | | | 当該年度の取組 | シティプロモーションの視点での評価 | 評価の理由 (市民の反応等) |
| 全 | 75 | | 吹田市の若手職員によるシティプロモーションの推進を行う有志グループenZINEを運営。 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | 第3期のenZINEを発足。写真班(インスタグラムでのハッシュタグ投稿・フォトパネル活用)、映像班(すいたんチャレンジ製作)、グッズ班(ラインスタンプ・すいたんパン製作)、新規企画班(やさしい日本語の活用)の4班計16人で活動。 | A | インスタグラムの#すいたんといっしょのハッシュタグは多くの人に投稿してもらった他、すいたんチャレンジはすいたんのSNSで投稿し、通常の投稿の数倍の反応(いいね・リツイート)があった。 |
| 全 | 76 | | 効果的なシティプロモーションの推進のために、行政以外の様々な立場から意見、助言を聴取している。 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | 学識経験者やメディア関係者で構成される「吹田市シティプロモーションアドバイザー会議」を3回実施しており、幅広い意見の聴取に努めている。また意見の聴取と市民から魅力の拡がる仕掛けづくりを目的に市民参加型のワークショップを開催した。 | B | シティプロモーションアドバイザー会議では、様々な意見をいただき、シティプロモーションの施策に反映させた。ワークショップ16名が参加し、参加者から「日常からもう少し視点を変えて考えてみたい」「自分が住む街について具体的に考える機会はなかなかないので良い経験になった」等の感想が上がった。 |
| 全 | 77 | ○ | 本市の魅力アップのための、SNSによる情報発信 | シティプロモーション推進室 | シティプロモーション事業 | ツイッター・フェイスブックですいたんによる本市や、すいたん自身の魅力を多くの人に知ってもらうための投稿を行っている。また9月から市公式インスタグラムも開始し、市の投稿の他、市民から市内の魅力的な風景やすいたんマスコットのハッシュタグ投稿を呼びかけた。 | A | すいたんのツイッターはフォロワー1万人を突破し、フェイスブック・インスタグラムも増加し続けており、市の魅力を伝える情報を受け取る人が増えた。 |